



ファミリーサポートセンター提供会員 (子育ての応援をしたい人) 講習の参加者募集

ファミリーサポートセンター提供会員として、登録に必要な講習会を実施します。講習会を受講いただきますと、提供会員としてファミリーサポートセンターに登録できます。ぜひ、あなたの経験を活かしてみませんか。

▶日時・内容

回	日 時	内 容
第1回	10月16日(木) 10:00~12:00	求められる援助と安全な預かり (事例を使って)
第2回	10月20日(月) 10:00~12:00	子どもの発達と配慮の必要な子 どものかわりについて
第3回	10月28日(火) 10:00~12:00	子どもの病気や起きやすい事故 及び子どもの食事について
第4回	11月13日(木) 10:00~12:00	救急講習、心肺蘇生法の実践
第5回	11月19日(水) 10:00~12:00	子どもを預かる時の環境について

ファミサポ養成講座コメント

▶ファミリーサポートセンターより

・「養成講座受講後すぐに自宅で預かるのは少し不安」など、心配なことや気になることはファミリーサポートセンターにどんどんお尋ねください

▶提供会員さんの声

・預かったことのある子どもさんと町で出会った時、声を掛けてくれたり、大きく成長した姿を見たときはとてもうれしいです

・子育て中の若いお母さんを見ると、少し前の必死だった自分の姿を思い出します。今すぐ始めるのは無理でも、この機会に受講して、いろんな方にメンバーになって欲しいなと思います

・我が子の子育てを思い出しながら、一緒にファミサポをしませんか？そして、かわいい笑顔に癒されましょう

▶場所 南部子育て支援センター

▶受講資格 町内在住で、心身ともに健康で援助活動に熱意をお持ちの方

▶申込期間 10月1日(水)~10日(金)

▶受講料 無料

▶申込み・問合せ 北部子育て支援センター
☎078 (944) 0717



播磨町 で子育てを こころ



▼南部子育て支援センター ☎079(437)4188

▼北部子育て支援センター ☎078(944)0717

▼福祉グループ ☎079(435)2362

地域みんなで子育て 播磨町ファミリーサポートセンターのご案内

ファミリーサポートセンターは、「子育てを応援してほしい人」と「子育ての応援をしたい人」を会員として、互いに子育てを支え合う「子育て相互援助活動」を支援し、地域の子育て支援活動の推進を図ることを目的としています。

▼会員の条件

◎依頼会員(子育てを応援してほしい人)

町内在住または在勤で、原則0歳から小学校6年生以下の子どもを養育されている方

◎提供会員(子育ての応援をしたい人)

町内在住で、心身ともに健康で援助活動に熱意をお持ちの方

※提供会員の登録には、所定の講習の受講が必要です。

▼援助活動の内容

・保育所や幼稚園の送迎
・保育所、幼稚園、学校が終わってから保護者帰宅までの時間
・学校行事や仕事の都合など、ちょっとした用事の時間
・保護者の買い物や通院およびリフレッシュしたい時間など

※子どもを預かる場所は、原則、提供会員の自宅です(宿泊不可)。また、原則、病気の児童については行いません。

▶利用料金

区 分	最初の1時間 (子ども1人)	1時間を超える場合 (子ども1人)
月～金曜日7:00～19:00 ※祝日・年末年始を除く	600円	300円/30分ごと
月～金曜日19:00～20:00、 土・日曜日、祝日、年末年始	700円	350円/30分ごと

※初回の提供会員との面接時にも料金は発生します。
※兄弟姉妹などで利用する場合、2人目からは利用料金の半額を加算します。
※取り消す場合には、取消料が生じますのでご注意ください。

▼利用時間

午前7時～午後8時

▼その他

播磨町ファミリーサポートセンターは会員の相互援助活動により成り立っています。場合によっては調整できないこともありますので、あらかじめご了承ください

おおく な～れ



子育て支援センター

子育ては「しんどいなあ!」と思う時こそ、子どもは成長しています

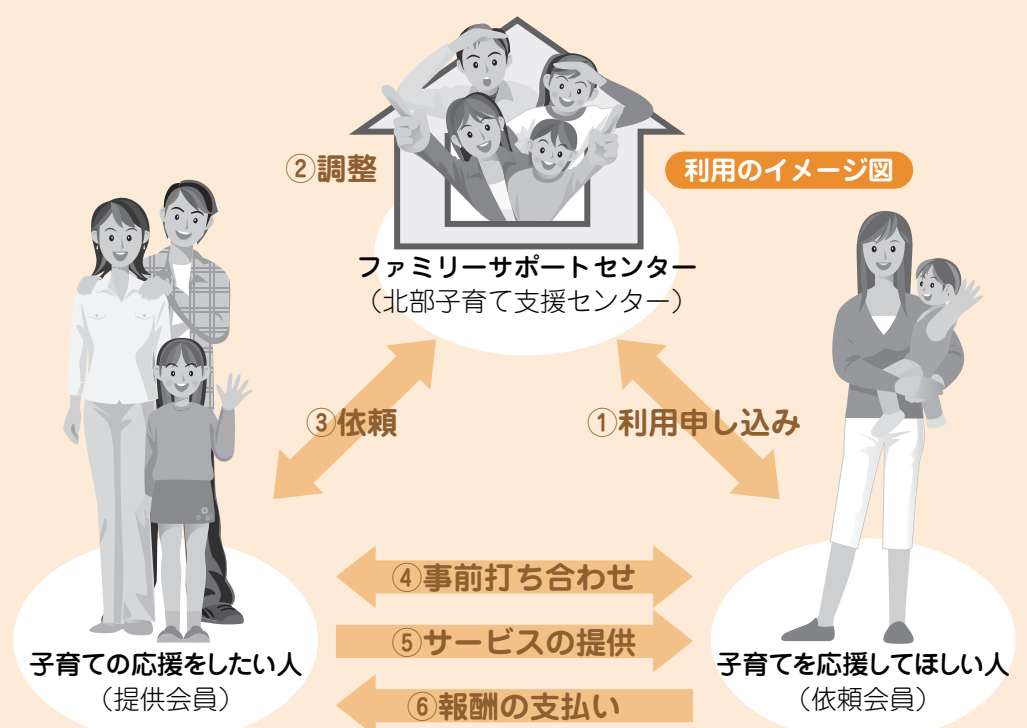
授乳やおむつ替えに追われ、まとまって眠る時間もとれなかった最初の1～3カ月。何となくリズムが出来てきたかなと思っていたら、夜泣きが突如として始まる。生活リズムを整えても、運動量を増やしても、十分に子どもと触れ合っても、それでも夜泣きが続くことがあります。

離乳食の時期は、「手づかみで大変」「遊び食べをして食べないので、食べさせてしまします」などいろいろな声を聞きます。手づかみは、赤ちゃんの服やテーブル、床までベタベタになり、お母さんのイライラの原因になることもあるで

しょう。でも、これは、赤ちゃんが順調に成長している証拠です。食べ物を直接手でつかむことで、そのかたさややわらかさ、温度などを感知取ります。そして、上手に口に入れることができたとき、自分で食べる意欲にもつながってくるので、余裕がある時は、つき合ってあげましょう。

2歳前後のいやいや時期は、何かしようにと声をかけても「嫌だ」と意固地になつてしまったり、服を着せようとすると、「自分で!」と言い張ったり、何でも自分でしたいのにうまく出来なくて、怒ってかんしゃくということがよくあります。「自分で!」という言葉や気持ちが出てきたら、させてあげましょう。一つ出来たらうれしくて、新しいことに挑戦する気持ちが生まれてきます。

このように、子育ては、落ち着いた時期もあるのですが、安心していたら、すぐ手がかる時期がまたやってきます。「しんどいなあ!」と思う時こそ、確実に子どもは成長しています。



▼会員登録・問合せ 播磨町ファミリーサポートセンター
☎078(944)0717

▼所在地 北部子育て支援センター内(西野添2丁目10番34号)

▼受付時間 午前9時～午後5時(日曜日・祝日を除く)